

## 地域との協働による「みちのリフォーム」

世知原町の中心市街において、歩行者の安全確保を図るため、車道を狭めて歩くスペースを確保し、車のスピードを抑える工夫を凝らした社会実験を行いました。

家屋を移転して歩道を広げるのではなく、既存の道路を地域の現状やニーズに合わせてリフォームするため、最低限の費用で整備効果もすぐに現れるうえ、地域の街並みやコミュニティも残すことができます。

計画づくりには、「世知原地域街中整備協議会」の意見を反映させ、実際の社会実験を通じて、地域の方々に効果を体感してもらっており、まさに住民参加型の取り組みとなっております。

今後は、アンケート結果などを踏まえ、本格的に実施することとしております。

【現状】



【現状】



【社会実験】



### ○社会実験の概要 (H23.3.1~3.14)

緑色シートで道路両側に幅1.5mの歩行空間を確保 (道路拡幅に比べ費用小)

地域の街並み・コミュニティを残す

速度抑制策 (その1) 「車道を狭くする」

【社会実験】

2車線から1車線へ

速度抑制策 (その2) 「ハンプ(凹凸)」

### ○社会実験で確認された効果

▼自動車走行速度 (km/h)

【現状】	34.5
【社会実験】	24.9

30km/hを越えると歩行者が致命傷に至る確率が急増するとされている。

▼高齢者(シニアカー)

【現状】 車道にはみ出す

【社会実験】 車道にはみ出さない

▼子供

【現状】 二人並ぶと車道にはみ出す

【社会実験】 並んで歩いても車道にはみ出さない

### ○地域イベント



社会実験期間中に「せちばる街中じげもん市」が開催されました。

### ○地域との協働

【協議会の様子】



【会長より一言】



世知原地域街中整備協議会  
会長 川崎 光政氏

今回の取り組みによって、以前から言われていた歩行者の安全確保が出来るようになります。しかしながら、ドライバーや周辺住民の方は若干不便が生じるかも知れません。「人」、「車」がお互いに譲り合い、「住み良い、安心、安全な街づくり」を目指し、後世に残す財産として、大事にしていきたいと思っています。

### ○今後の本格実施のイメージ



### ○アンケート結果を踏まえ、本格実施を決定

